

令和3年3月



よめばやさしくなる
しゃきょうの
こうほうし



福祉くまの

介護サービスという仕事

介護サービスという仕事



必要不可欠な
社会資源

介護保険制度が始まり、早20年が経過しました。この制度はそれまでの措置制度と異なり、利用者と事業所が契約を交わし、自身で利用するサービスを選ぶという新たなしくみで、よりその人にあつた様々な介護計画の作成とサービスが提供されるようになりました。その需要に伴い、それらを担う事業者の新たな進出と、サービス量の急激な増加により、少子高齢化が進むこの地域でも制度開始当初から、必要不可欠な社会資源として位置づけられ、その意識も年々高まっています。



人材確保の壁

介護保険制度が始まった当初は、多くの人が「我こそは」と介護の資格を取得し業務に就きました。しかし、社会情勢や人々の意識の変化などにより、介護を職にする人口は年々減少し、近年この業界に関する最も大きな問題となりました。社会的な関心や評価は様々ありますが、実際に業務に携わる我々からしてみれば、人の役に立つことができる、非常にやりがいのある職種です。そのような強い自負を持ち、日々頑張っていますが、反して介護を担う人材の確保は年々厳しくなり、報道などでも社会的な問題として捉えられています。



成長できる仕事

人相手の仕事ですので、時に悩み考えさせられることもあります。しかし多くの人に感謝され喜びを感じ、人間的にも大きく成長できる仕事であることに間違いありません。人材不足はこの地域の未来に大きな不安をもたらしますが、一方で少ないながらも新しい仲間が増えることに、明るい光を感じます。



現場の声

そこで今回、井戸デイサービスに勤務する濱中拓人さん（令和2年度就職）の思いを聞いてみました。

私がこの職に就きたいと思ったきっかけは小さい頃から楽しそうに暮らしている高齢者の様子から、熊野で暮らす高齢者の生活を支援したいと思ったことでした。デイサービスで介護職員として働く中で、改めてこの仕事は「高齢者が熊野で暮らし続けるために必要不可欠である」と考え、やりがいを感じています。デイサービスはデイサービスの職員、ケアマネジャー、ご家族等と連携して、高齢者の地域での暮らしをサポートする仕事の一つです。特にデイサービスは関係者や利用者の皆さんと話し合う機会が多いので、その会話から得られた情報をサービスの中でその人

ごとの細かな対応に活かすことが多くあります。その連携プレーにより皆さんがいきいきと笑顔で過ごされている様子を見ることができるとき、達成感や充実感が得られます。働き始めて1年目ですので、まだまだ失敗してしまうことがあります。でもそんなとき、利用者さんから人生の先輩としてやさしい言葉



をかけていただくことがあり、それが心の支えになっています。また逆に、この心の支えから、利用者の皆さんのいきいきとした表情を引き出し、地域での生活を支えていきたいと思うようになります。これがいわゆる仕事のモチベーション（意欲、やる気）に繋がっています。これからも困っている人をサポートする福祉職員のひとりとして、熊野で暮らす高齢者の生活を支える、この職で頑張ります。



みなさんにもぜひ、熊野を思う気持ちや福祉の仕事に関心を高めていただき、そして、この地域を支える仲間が増えてくれることを切に願います。



2/21

社協ふれあいフェスタ

熊野市保健福祉センター

新 型コロナの影響で企画内容を一新！たくさんの方に会場頂くのが難しく、内容は、人数制限等を設けた子どもを対象とする「福祉体験ゲーム」。「くましゃんをたすけだす」という仕掛けられた遊びに驚きながらも、皆で協力してゲームのクリアを目指しました。この体験が福祉の世界への第一歩になればと願います。



くましゃんをたすけだせ!



2/9

障がい者社会参加支援事業

ふらった〜

熊野市保健福祉センター



「んとうや すまいるしーど」(有馬町)の岩崎昌子さんから事業内容などのお話を聞いて、「仕事や就労」について考えてみました。その後は、ニュースポーツ「ポッチャ」を楽しみ、久々に集まったことに嬉しさを感じました。



やりました。

ボランティアセンター情報 いな



89

熊野市ボランティアセンター

登録ボランティア数

団体：31 個人：17名

合計：1,499名

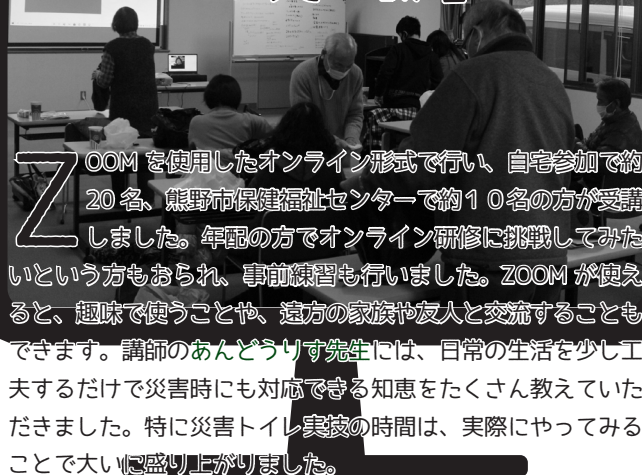
令和3年1月31日現在

レクリエーションボランティア養成講座開催



1 月30日、熊野市保健福祉センターにて、レクリエーションボランティア養成講座を開催しました。講師の山城敏先生から、イスに座って出来るダンスや、空き缶を使った釣りゲーム等のレクを教えてくださいました。参加者の皆さんは楽しみながら学んでおり、地域サロンや交流の場等で披露してくれる事を期待します♪

かぞくをまもる くらしを楽しむ ぼうさい講座



ZOOMを使用したオンライン形式で行い、自宅参加で約20名、熊野市保健福祉センターで約10名の方が受講しました。年配の方でオンライン研修に挑戦してみたいという方もおられ、事前練習も行いました。ZOOMが使えると、趣味で使うことや、遠方の家族や友人と交流することもできます。講師のあんどうりす先生には、日常の生活を少し工夫するだけで災害時にも対応できる知恵をたくさん教えてくださいました。特に災害トイレ寝袋の時間は、実際にやることで大いに盛り上がりました。

防災サークルメンバー募集!

社 協ふれあいフェスタなどで、こどもたちに防災の啓発をしてくれるメンバーを募集しています。お問い合わせください。



熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

所在地：熊野市井戸町 1150 番地
でんわ：0597-89-5000
FAX：0597-89-3068
担当：都竹郁氏 (つづくいし)



無料法律相談

◆開設日 3月16日(火)
4月20日(火)

- ◆相談員 片山眞洋 弁護士
- ◆会場 保健福祉センター
- ◆時間 13時から(一人15分)
- ◆相談内容 民事全般
(相続、離婚、雇用、他)
- ◆予約 前日の15時まで
- ◆担当 地域福祉係 坪田



リサイクル情報

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、また、「譲ってほしい」という品物を登録し、地域でリサイクルする制度です。

- ①熊野市保健福祉センター掲示板
- ②ホームページのリサイクルのページでどうぞ。

◆担当 地域福祉係 榎本

コチラから



絶賛受付中

令和3年度

ボランティア活動保険

ボ

ランテア活動を継続されている方、または新たにボランティア活動を始めた方はボランティア活動保険への加入をお勧めします。現在加入申込を受付しておりますので、詳細の確認やご相談があれば気軽にお問い合わせください。

◆担当 地域福祉係 都竹(つづく)

コチラから



赤い羽根共同募金 へのご協力 ありがとうございます。

令和2年度赤い羽根共同募金実績

1,659,873円



コロナ禍で大変な中、市民の皆さまには多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。次年度もコロナに負けず頑張っていくしますので、あなただけで支援ご協力をよろしくご願ひ申し上げます。

くまちがいさがし

春ですなぁ。ポカポカ陽気でくまちがいさがし。答えは8つ！
抽選で3名の方にプレゼント！応募は、次の3つから。

- ①はがきに文字で答えを書いて送る
- ②この絵に記入して、はがきに貼って送る
- ③ // 、写真を撮って「おてがみ」から送信する

はがきの送り先☎519-4324 熊野市井戸町1150番地 熊野市社会福祉協議会くまじゃん宛

「おてがみ」の送り方☎熊野市社協HP「おてがみ」から。

または、右上のQRコードから。👉👉👉

令和3年3月29日(月)まで
前回当選者と答え

西由美子さん、前田マリ子さん、松井タカ子さんでした！

おめでとうございます!!



ヘルパー 資格取得 おうえんします!



熊野市社会福祉協議会では数年前から介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)受講者に対して一部助成を行っておりますが、今後さらに拡大する予定です。人材創出と、あなたの新しい一歩を全力で応援する新しい取り組みは決まり次第、新聞、福祉くまのにてお知らせします。※現在の内容はホームページでご確認ください。

熊野市社会福祉協議会では数年前から介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)受講者

発行 社会福祉法人 熊野市社会福祉協議会
☎519-4324 三重県熊野市井戸町1150番地
☎0597-89-5000 FAX0597-89-3068



だんだんと暖かくなってきました。春ですなぁ。「春眠を覚えず」と昔の人は仰いましたが、居眠りというのはあまり良く思われないことが多いですね。睡眠は、疲れた心身を回復させるもの。昨年から続く「コロナ禍」でみんな相当参っていますので、無意識の休息も致し方ないのですね。たまには「春眠を覚えず」もいいのかななんて思う今日この頃です。(あきひと)

あとがき



福祉くまの no.93 (2021年3月)